

2020年度事業計画実施報告

2020年3月 1日から
2021年2月28日まで

公益財団法人日本野球連盟

2020年度事業報告

1. 総括

新型コロナウイルスの感染拡大は、本連盟の事業運営に大きな影響を与えた。主催する第45回全日本クラブ野球選手権大会並びに第46回社会人野球日本選手権大会をはじめ、各地区で予定した上記大会各地区予選や日本選手権対象大会等多くの公式大会が中止となった。また、各加盟チームに対するオープン戦の自粛要請も4月から約2か月間に及んだ。

本連盟では、新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施した上で安全に試合や大会を運営するため「JABA新型コロナウイルス対応ガイドライン」を策定、各加盟チームによるオープン戦に続き、7月にはJABA公式大会の開催を解禁した。7月2日、都市対抗野球大会の主催者である毎日新聞社丸山昌宏社長と本連盟清野智会長との共同記者会見を行い、合わせて共同メッセージを発表、第91回都市対抗野球大会の開催に全力を注ぐ意志を表明した。また、各クラブチームの目標となる大会として、各地区クラブ大会（8大会）については予定通り開催した。

第91回都市対抗野球大会は、入場者数は各試合1万人以内に制限し、全席指定、全試合入れ替え制、入場券はオンライン販売に限定した。都市対抗の象徴でもあるチーム応援団による華やかな応援は中止した。有料入場者数は、例年を大きく下回る約8万9千人であった。大会は、狭山市・Hondaが11年ぶり3回目の優勝を飾った。

一方、指導者研修会や審判講習会等の各種研修事業並びにティーボール教室を始めとする普及振興事業も、新型コロナウイルス感染拡大の影響からその多くの事業を中止とした。また、加盟全国団体においても少年野球や女子野球等に関わる多くの大会や振興事業が中止された。

収益事業については、第91回都市対抗野球大会に優勝した「Honda」の記念グッズを始め都市対抗野球大会関連グッズを商品化し販売した。これを契機にJABA公認グッズアイテムの拡大を図り、ファンのニーズに合った商品提供を目指す。

決算内容は、事業収益における減収が大きな要因となり正味財産は前年比約1億3千万円の減少となった。本連盟としては、まずは、都市対抗野球大会、社会人野球日本選手権大会並びに全日本クラブ野球選手権大会において、安心・安全に大会を運営することを前提に収益改善に向けた最善な運営方法を検討していく。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えない中でのスタートとなるが、JABA公式大会全てを開催できるよう全力で取り組んでいく。

2. 本年度の事業内容

(1) 公益目的事業Ⅰ 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営

ア. 第91回都市対抗野球大会・・・(別冊1-2, 1~3頁)

期 日	11月22日(月)~12月3日(金)
球 場	東京ドーム
参加チーム	32チーム

※「狭山市・Honda」(4年連続34回目の出場)が11年ぶり3回目の優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

※全国各地区で行われる予選に対し、それぞれ当該地域の地区連盟を通じて、一部運営経費を負担した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、以下のとおり施策を講じた。

- ・新型コロナウイルス対応ガイドライン【第91回都市対抗野球大会用(有観客開催)】を制定し、運営を行った。出場チームや関係者に配布すると同時にHP上に公開した。
- ・観客席は、全試合入れ替え制とし、来場者数は毎試合1万人以下に制限した。また、入場券はすべてオンラインチケットによる販売とし、当日券の販売は行わないこととした。
- ・出場チームに登録されている役員・選手全員と大会関係者(役員・審判員・運営スタッフ等)に対しPCR検査を実施した。
- ・本大会における感染拡大防止策の周知と協力要請のため、動画を制作し、配信した。また、

大会期間中は、東京ドーム内外の大型ビジョンで放映した。

- ・東京ドーム各入場ゲートにサーモグラフィー（合計11台）を設置し来場者の検温を行った。
- ・東京ドーム内各所にアルコール消毒液を設置した。
- ・来場者全員に座席の消毒用としてアルコール除菌ウェットティッシュを配布した。
- ・1日1回（最終試合終了後）観客席の消毒を行った。
- ・毎試合終了後、選手が使用するダッグアウト・ロッカー・サロンの消毒作業を行った。

イ. 第46回社会人野球日本選手権大会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。（2020年4月2日：理事会みなし決議）
日本選手権対象11大会についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、一部準備にかかった費用については、各地区連盟からの申告に基づき、本連盟が負担した。（2021年2月16日：第2回定時理事会決議）

ウ. 全日本クラブ野球選手権大会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。（2020年4月2日：理事会みなし決議）

エ. 各地区クラブ大会

以下の通り「各地区クラブ大会」として8大会（中国地区と四国地区は合同開催）を実施した。

主 催：日本野球連盟、日本野球連盟各開催地区連盟、毎日新聞社

後 援：スポーツニッポン新聞社

協 賛：ミズノ株式会社

※各大会の運営は開催地地区連盟に委託。大会運営費は各地区連盟に支給した。

2020年度の開催状況

大会名	期 間	球 場	チ-ム数	試合方法	優勝チ-ム	準優勝チ-ム
北海道地区 クラブ選手権	7/11・12・25	野幌総合運動公園 ・栗山町民	13	トーナメント	TRANSYS	ウイン北広島
東北 クラブカップ	9/5～2日間	鶴岡ドリームS 酒田市光ヶ丘	8	トーナメント	TFUクラブ	福島硬友クラブ
北信越 クラブカップ	10/16～3日間	津幡運動公園	8	トーナメント	ロキソ/富山	千曲川硬式野球 クラブ
関東連盟 クラブ選手権	10/18・24	市営浦和・ 岩槻川通	8	トーナメント	全足利クラブ	ハナマウイ
東海地区 クラブ野球 選手権	11/14～2日間	岐阜長良川	8	トーナメント	ジエイクグループ	静岡硬式野球 倶楽部
近畿クラブ 会長杯	9/26・27・10/3	甲賀市民S	8	トーナメント	大和高田クラブ	マツダ/箕島硬式 野球部
中・四国クラブ 野球選手権	10/17	美咲町エイコンS	4	トーナメント	福山ローズファイターズ	松山フェニックス
九州クラブ 野球選手権	8/1～2日間	別大興産S	8	トーナメント	ビッグ開発BC	宮崎福祉医療 カレッジ

オ. 2020年度各JABA公式大会結果（主要大会のみ）・・・（別冊1-②，4頁）

カ. 各種プログラム維持・管理

「JABA登録システム」により全国各地で行われる大会へのチームとしての出場手続や選手のエントリーなどを行った。管理にかかる費用については、大会運営に直結することから、法人会計との按分により一部費用を大会事業費に計上した。

キ. 広報活動

大会事業の広報活動として以下のとおり実施した。

- ・ 社会人野球情報誌「グランドスラム」の発行に対し、制作協力金を拠出した。
- ・ JABA公式ホームページを通じて本連盟に関わる各種情報を発信した。また、JABA公式ホームページは、内容の充実化を図るため、リニューアルを実施、6月5日より運用を開始した。
- ・ 日本野球連盟報（年刊会報誌）、JABAニュース（月刊会報誌）を通じて大会事業の広報活動を行った。
- ・ YouTubeに独自のチャンネル「JABAステーション」を設置し、社会人野球番組を配信した。配信した番組は以下のとおり。
過去の都市対抗野球大会の映像（計24試合）、都市対抗野球大会地区予選ライブ中継（6試合）、都市対抗野球大会出場チーム紹介（13チーム）、都市対抗野球大会組み合わせ抽選会、都市対抗野球大会全31試合ダイジェスト
- ・ JABA公式SNS（facebook, twitter, Instagram）を通じて情報を発信した。
内容は、JABAからの各種広報事項に加え、小学館グランドスラム編集部による「週刊グランドスラム」やJABA公式サポーター（3名）の取材活動による記事や動画など。

大会事業の広報活動にかかる費用のうち、大会事業にかかる部分につき、公益事業Ⅱ（普及振興事業）と按分にて計上した。また、日本野球連盟報（年刊会報誌）、JABAニュース（月刊会報誌）については、編集発行にかかる費用のうち、大会事業にかかる部分につき、公益事業Ⅲ（スポーツ情報提供事業）と按分にて計上した。

ク. 表彰事業（年間表彰式）

新型コロナウイルス感染症大防止の為、第46回社会人野球日本選手権大会、第45回全日本クラブ野球選手権大会をはじめ、年間表彰の対象とする多くの大会が中止となったことから、本年度の表彰選手選考並びに表彰式は中止とした。（2020年10月22日：第4回臨時理事会決議）

ケ. 指導者育成事業

JABA指導者研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。（2020年10月22日：第4回臨時理事会決議）

コ. 審判員育成事業

①全国審判講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。（2020年8月4日：第2回臨時理事会決議）

②各地区・都道府県審判員育成事業に対する支援

各地区連盟又は加盟団体が実施する審判員育成事業に対する費用の一部を支援した。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、多くの地区で審判員育成事業も中止となったため、講師の派遣要請はなかった。従って、本年度の講師派遣実績はなし。

サ. 公式記録員育成事業

公式記録員実地研修の実施

11月22日から12日間、東京ドームで開催された第91回都市対抗野球大会において、公式記録員の実地研修として地区連盟から計6名が参加し、公式記録を担当した。なお、指導は公式記録部会委員が行った。

シ. 場内アナウンス研修事業

各地区場内アナウンス担当者実地研修の実施

第91回都市対抗野球大会期間中に実施研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実地研修としての参加は中止とした。

ス. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施なし。

セ. 競技力向上事業

① 2020年度全日本ジュニア強化合宿

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。(2020年7月2日：第1回臨時理事会決議)

② 優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、選手に関する情報収集活動を行った。

③ 各地区連盟主催で実施する競技力向上を目的とする研修会に対する運営費の一部支援を行った。競技力向上委員・サポートスタッフの派遣要請はなかったため、本年度の講師派遣実績はなし。

④ 全日本野球協会 (BFJ) 選手強化委員会事業に対する協力

BFJが実施する強化事業に対する本連盟としての事業費負担金についてBFJと協議した結果、BFJの本年度の事業実施状況に鑑みて当初予定額より減となる250万円となった。本連盟の大会事業に関わるBFJによる競技力向上目的事業の実施状況は以下のとおり。

・ 社会人代表選手強化合宿

12月10日から13日に和歌山県田辺市での開催について準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となった。

・ 各種国際大会

第4回WBSC U23ワールドカップがメキシコで予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、延期となった。延期後の日程は未定。

・ 全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣
本年度は派遣実績なし。

ソ. 海外研修及び派遣事業

本年度は派遣実績なし。

(2) 公益目的事業Ⅱ 普及振興事業

ア. 指導者育成事業

指導者研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。(2020年10月22日：第4回臨時理事会決議)

イ. 審判員育成事業

① 全国審判講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。(2020年8月4日：第2回臨時理事会決議)

② 各審判員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

前項コに記載の各地区・都道府県審判員育成事業について、普及振興目的部分に対する費用は公益Ⅱに按分計上した。

ウ. 公式記録員育成事業

各公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

本年度対象となる事業及び講師派遣実績はなし。

エ. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施なし。

オ. 中学硬式野球協議会事業

① 第14回全日本中学野球選手権大会 (ジャイアンツカップ)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。(2020年7月2日：第1回臨時理事会決議)

②各加盟団体等主催指導者講習会に対する支援

以下の講義（各60分）の動画を制作し、各加盟団体を通じて全国に配信した。受講者には申請に基づき修了証を発行した。修了証は、合計1643名に発行した。

【1】中学生期におきる傷害と対応 日本野球連盟競技力向上委員 可知 芳則

【2】中学生のためのトレーニング 三菱パワー野球部トレーニングコーチ 山下 順二

【3】チームマネジメント（SNSの活用例と課題）(株)ヒューマンクエスト

代表取締役 大西 満

カ. 女子野球普及振興事業を実施

全日本女子野球連盟からの要請に応じて事業に対する支援を行った。

キ. 野球教室、ティーボール教室

①第91回都市対抗野球大会期間中に開催を計画していた親子ティーボール教室は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。

②野球競技普及振興事業

JABA加盟団体等が実施する野球振興事業に対し「野球競技普及振興助成金」として一部事業費を負担した。

・ティーボール教室・野球教室 申請件数9件（別冊1-②，5頁）

・全国一斉ティーボール教室は中止とした。

ク. 東日本大震災野球復興事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止とした。（2020年7月2日：第1回臨時理事会決議）

ケ. 競技力向上事業

①国際事業の日本開催

・世界少年野球大会 成田大会

世界少年野球推進財団との共催で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となった。

②全日本野球協会が行う選手強化本部事業に対する協力

普及振興事業として以下の国際大会に派遣する日本代表チーム編成に協力する予定であったが、2大会とも新型コロナウイルス感染拡大防止の為、延期となり、年度内に実施されなかった。延期後の日程は未定。

なお、女子日本代表については、全日本女子野球連盟により代表選手が選考され、国内強化合宿は実施された。

・U15日本代表（硬式）

第5回WBSC U15ワールドカップ（メキシコ）

・女子日本代表（加盟全国団体普及振興事業・国際大会出場補助）

第9回WBSC女子ワールドカップ（メキシコ）

・全日本野球協会からの要請による国際大会等への代表者等を派遣
本年度は派遣実績はなし。

・その他

全日本野球協会と連携を図り、国際大会の開催に関わる情報収集を行った。また、国際野球ソフトボール連盟、アジア野球連盟及び日本オリンピック委員会、日本アンチドーピング機構等の事業について、全日本野球協会を通じて協力した。

③各加盟団体等が行う競技力向上事業に対する支援（加盟全国団体国際大会出場補助費）

加盟全国団体からの申請に基づき支援する予定であったが、本年度の国際大会出場補助費の申請はなかったため補助費の支給実績はなし。

コ. 展示による普及活動

野球殿堂博物館の維持会員として運営協力を行った。また、野球殿堂博物館からの要請を受けてホームページのリニューアルに係る費用の一部を負担した。

サ. その他

①野球規則の制定に関する協議

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議を行った。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画した。

②野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議

社会人野球における取り扱いについては、規則・審判委員会において協議した。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画した。

③アオダモ資源育成の会に対する協力

選手が使用する木製バットの資源育成のため「アオダモ資源育成の会」の事業に協力した。

(3) 公益目的事業Ⅲ 野球情報提供事業

ア. 2020年度版日本野球連盟報の発行、配布

2020年度における当連盟の事業や野球に関わる事項等をまとめて発行した。
制作部数は2, 200部、配布先は当連盟内外の関係先、希望者に対する販売も行った。

イ. 月刊会報誌「JABAニュース」を年12回発行、JABA内外の関係先へ配布した。

発行部数は毎回14, 000部程度。

※t o t o助成金の対象事業である。

※事業実施に際して大会運営に関わる事業内容の情報提供にかかる費用は、公益事業Ⅰ（都市対抗野球等、野球大会の開催と運営）に按分して計上する。

(4) 収益事業

ア. 大会グッズ等の販売

第91回都市対抗野球大会におけるグッズの販売を行った。2020年度より販売アイテムの拡大を行った。JABAカレンダーや従来の都市対抗野球大会公式グッズに加えて「パーカー・帽子・マスク」を制作し、毎日新聞オンラインストアで販売した。また、第91回都市対抗野球大会で優勝したHondaの優勝記念グッズも商品化し、2021年JABAカレンダーと併せて、2021年1月に設置したJABA販売サイトに出品した。

イ. 野球関連の書籍の販売

社会人野球ガイドブック「グラウンドスラム誌」並びに2020年公認野球規則の販売を行った。

(5) その他（法人会計）

本連盟の概要・沿革・事業内容等を掲載したJABAパンフレットを制作した。

(6) その他（諸規程に基づく承認事項等）

ア. 2020年度JABA公式大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第46回社会人野球日本選手権大会や第45回全日本クラブ野球選手権大会をはじめ、多くの公式大会が中止となった。

イ. 野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関する事

2020年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社から申請があったボールとした。

イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックスジャパン、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホーム

ウ. 所属プロ球団との交流試合

「2020年 プロ・社会人交流試合の申し合わせ事項」に則り実施した。

エ. 国内独立リーグとの交流試合

国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施した。

オ. 2020年度新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする主な通知・通達事項

・・・(別冊1-②, 6頁)

- カ. 2020年度加盟チームの推移・・・(別冊1-②, 7頁)
- キ. 2020年度加盟チーム数及び登録者数・・・(別冊1-②, 8頁)
- ク. 2020年度加盟チームの変更事項・・・(別冊1-②, 9頁)
- ケ. 2020年度一般賛助会員数(JABAクラブ)・・・(別冊1-②, 10頁)

コ. 2020年度会議開催状況

①評議員会

- 第1回定時評議員会(みなし決議) 5月21日
- 第1回評議員会(みなし決議) 7月15日

②理事会

- 第1回理事会(みなし決議) 3月23日
- 第2回理事会(みなし決議) 4月 1日
- 第1回定時理事会(みなし決議) 5月 1日
- 第1回臨時理事会 7月 2日 関西大学東京センター
- 第2回臨時理事会 8月 4日 WEB会議
- 第3回臨時理事会 9月10日 関西大学東京センター
- 第4回臨時理事会 10月22日 関西大学東京センター
- 第5回臨時理事会 12月18日 関西大学東京センター
- 第2回定時理事会 2月16日 WEB会議

③業務執行会議

- 第1回業務執行会議 6月19日 WEB会議
- 第2回業務執行会議 10月15日 ジャパンベースボールセンター会議室
- 第3回業務執行会議 12月10日 ジャパンベースボールセンター会議室
- 第4回業務執行会議 12月 3日 ジャパンベースボールセンター会議室
- 第5回業務執行会議 2月10日 WEB会議

④各委員会

【事業統轄委員会】

- 第1回事業統轄委員会 8月21日 WEB会議

【競技力向上委員会】

- 競技力向上委員会(委員長・副委員長)
9月17日 ジャパンベースボールセンター会議室

【規則・審判委員会】

- 第1回規則・審判委員会 2月 3日 WEB会議

【コンプライアンス委員会】

- 第1回コンプライアンス委員会 2月 4日 WEB会議

- ⑤日本野球振興世話人会全体会議 7月27日 東京ステーションカンファレンス

サ. 2020年度 慶弔及び事務局人事

①野球殿堂入り

川島勝司参与(元副会長)が野球殿堂入り。

②逝去

- 2020年 5月10日 藤原 克也(日本野球連盟 元評議員)
- 2020年 5月19日 松田 昌士(日本野球連盟 特別顧問・元会長)
- 2020年 8月27日 福嶋 一雄(日本野球連盟 参与・元理事)
- 2020年10月 7日 田中 順五郎(日本野球連盟 元評議員)

以上